

(別紙)

提出書類の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 (変更)					
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	西都市大字穂北3556-6					
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	西日本油脂工業株式会社 取締役社長 松浦 輝公					
主たる業種	飼料製造業					
事業概要	鶏ガラ等から飼料原料を製造する。					
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやぎ県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者					
計画期間	R2年度～ R6年度					
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (R1)年度	前年度の実績 (R3)年度	目標年度② (R6)年度	増減率 $(②-①)/① \times 100$	
	総排出量	2,261 t-CO ₂	2,570 t-CO ₂	2,500 t-CO ₂	10.57 %	
	原単位の排出量	0.0388 t-CO ₂	0.0421 t-CO ₂	0.0410 t-CO ₂	5.67 %	
原単位の考え方	使用原料 1 t 当りのCO ₂ 排出量					
目標達成のための基本方針	限りなく省エネを追求する。					
目標達成のための推進体制	エネルギー管理士・ボイラー技士・危険物取扱者等を中心に燃料及び電気の使用量を削減する。					
目標達成のための措置の内容	使用蒸気圧力、製造工程、ボイラーの管理を見直しして、効率と省エネを追求する。					
特記事項						

- 備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
- 2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。